

2022

Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2022年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 中澤 宏
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌（2022年3月期・営業のご報告）」をお届けいたします。本誌では、2022年3月期の業績ならびに各種取り組みについてご紹介しておりますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

当社グループを取り巻く環境は、各種政策の効果や海外経済の回復により、社会経済活動が緩やかに正常化

していく動きも見られます。しかしながら、国際情勢の不安定化や、各地で繰り返す新型コロナウイルス感染症再拡大の動きなどを背景に、依然として先行きは不透明な状況にあります。

こうした中で、当社グループは、グループ長期ビジョンである「課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する」の達成に向けて、2022年4月からの3年間の計画期間とする新たな中期経営計画『Go forward with Our Region』をスタートいたしました。コンサルティング機能の強化や、DXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域への挑戦を通じて、地域金融グループとして新たなステージへと進んでまいります。

「地域に根差した活動こそ原点である」との考えに基づき、地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の持続的成長への貢献を実現すべく、役職員一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

2022年6月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
業績ハイライト	02
中期経営計画	05
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
株式のご案内	14

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2022年 3月期	前 期 比	2021年 3月期
経常収益	1,777	18	1,759
経常利益	302	△ 19	322
親会社株主に帰属する当期純利益	205	△ 8	213
自己資本比率	9.54%	0.09%	9.45%

当社における2022年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比18億円増加の1,777億円、連結経常利益は前期比19億円減少の302億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比8億円減少の205億円となりました。

連結自己資本比率は9.54%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2 行 合 算		
	2022年 3月期	前 期 比	2021年 3月期
経常収益	1,619	39	1,579
コア業務粗利益	1,248	40	1,207
経費(臨時処理分を除く)	788	△ 35	823
コア業務純益	460	75	384
除く投信解約損益	448	71	376
与信費用	135	4	130
経常利益	304	△ 15	320
当期純利益	218	△ 6	224

2行合算では、経常収益は前期比39億円増加の1,619億円となり、当期純利益は前期比6億円減少の218億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比25億円増加の889億円となり、当期純利益は前期比11億円減少の131億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比14億円増加の729億円となり、当期純利益は前期比5億円増加の87億円となりました。

(単位: 億円)

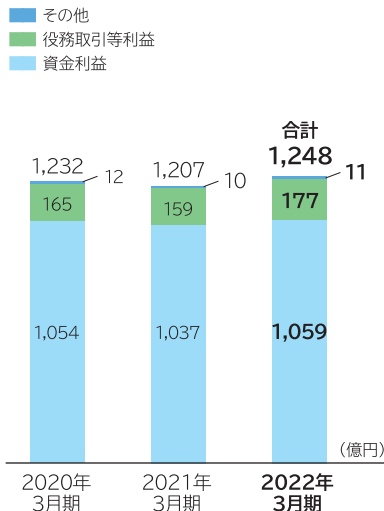
	北 陸 銀 行		
	2022年 3月期	前 期 比	2021年 3月期
経常収益	889	25	864
コア業務粗利益	684	17	667
経費(臨時処理分を除く)	417	△ 22	439
コア業務純益	267	39	228
除く投信解約損益	255	40	215
与信費用	85	1	84
経常利益	209	3	205
当期純利益	131	△ 11	142
自己資本比率	9.31%	0.17%	9.14%

(単位: 億円)

	北 海 道 銀 行		
	2022年 3月期	前 期 比	2021年 3月期
経常収益	729	14	715
コア業務粗利益	564	23	540
経費(臨時処理分を除く)	371	△ 13	384
コア業務純益	192	36	156
除く投信解約損益	192	31	161
与信費用	49	3	46
経常利益	95	△ 19	115
当期純利益	87	5	81
自己資本比率	8.94%	0.06%	8.88%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

資金利益 **1,059億円**

預け金利息、外国証券利息の増加により、前期比22億円増加しました。

役務取引等利益 **177億円**

投信・保険手数料、法人コンサル手数料の増加により、前期比17億円増加しました。

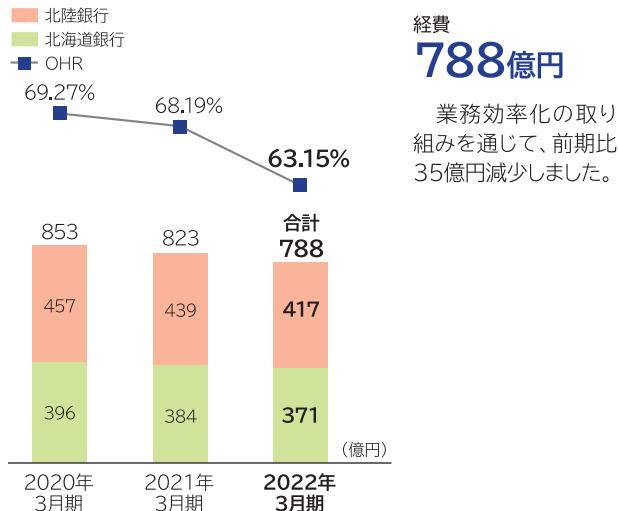
その他 **11億円**

外国為替売買益の増加により、前期比若干増加しました。

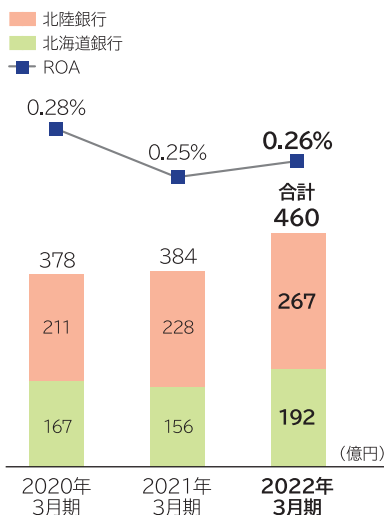
コア業務粗利益 **1,248億円**

上記の結果、前期比40億円増加しました。

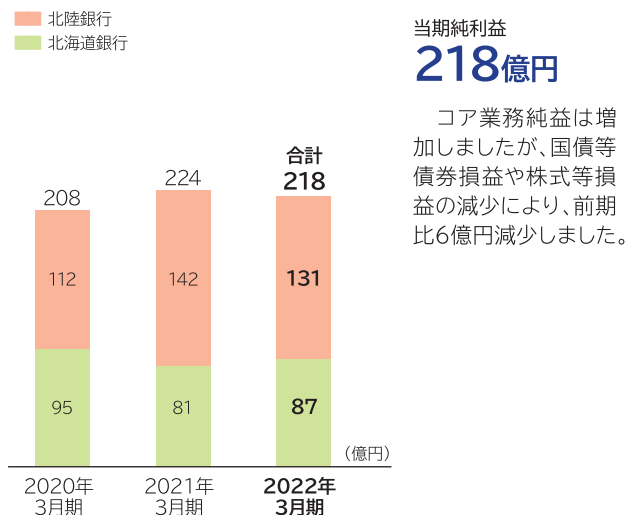
■ 経費<2行合算>



■ コア業務純益<2行合算>



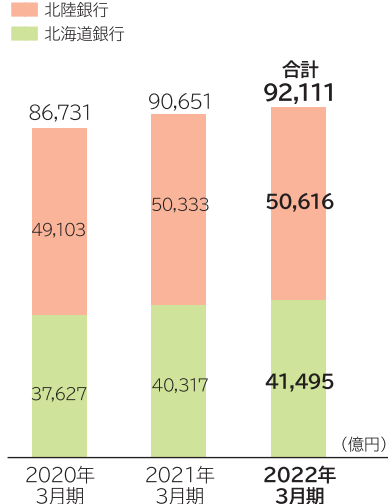
■ 当期純利益<2行合算>



貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



貸出金

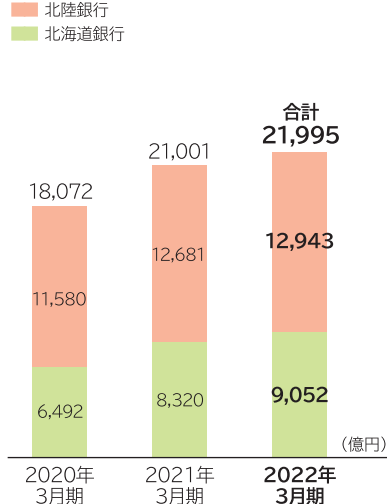
9兆2,111億円

個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、前期末比1,459億円増加しました。

有価証券残高・健全性の指標

■ 有価証券残高<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



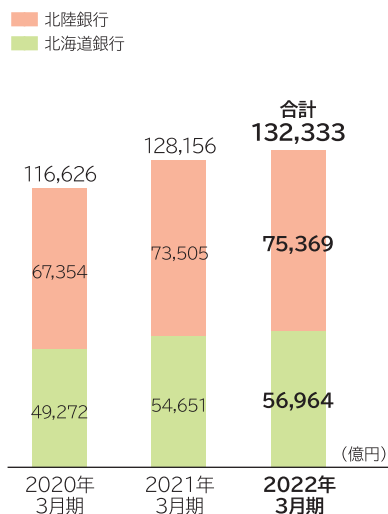
有価証券残高

2兆1,995億円

有価証券残高は、地方債および外国証券の増加により、前期末比994億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



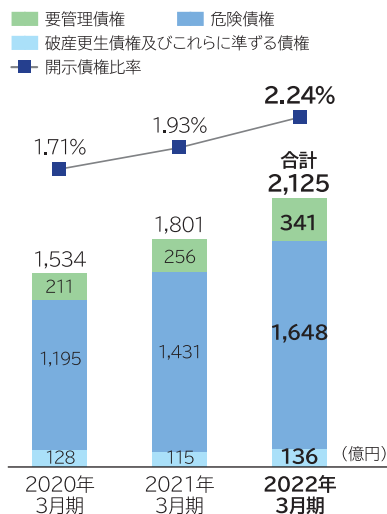
預金(含む譲渡性預金)

13兆2,333億円

個人預金を中心に増加し、前期末比4,177億円増加しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権 危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



金融再生法開示債権

2,125億円

前期末比323億円増加しました。

開示債権比率

2.24%

前期末比0.31ポイント上昇しました。

2022年4月スタート!! 新中期経営計画『Go』

ほくほくフィナンシャルグループは、社会・経済の急速なデジタルシフトやカーボンニュート4月からグループ長期ビジョンの実現に向けた新たな中期経営計画をスタートいたしました。

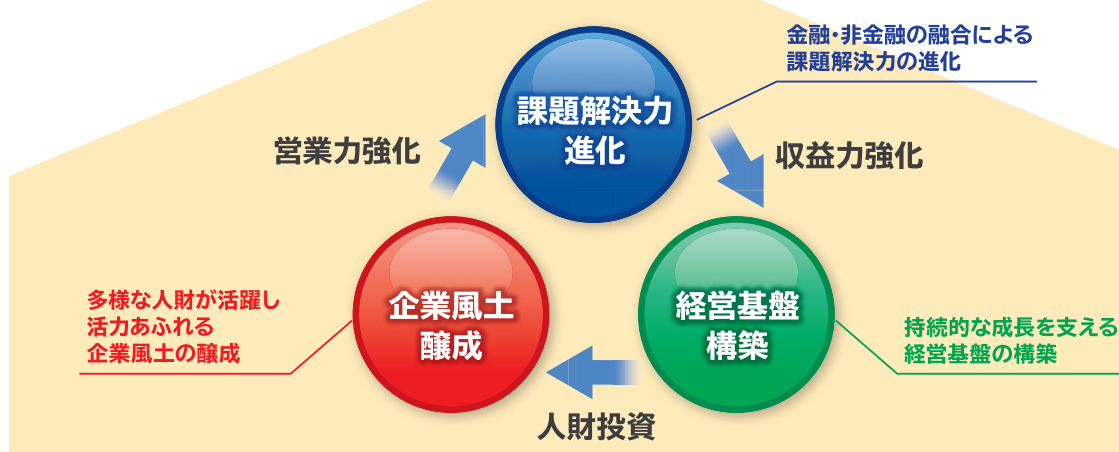
グループ長期ビジョンについて

地域金融グループにとって「地域に根差した活動こそ原点である」との考えから、地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の発展と当社グループの成長を両立する姿を長期ビジョンとして掲げています。

課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する



長期ビジョン実現に向けた長期戦略



forward with Our Region 』(2022年4月～2025年3月)

ラルをはじめとする環境課題への意識の高まりなど、経営環境が大きく変化するなか、2022年本計画の取り組みを通じて地域金融グループとして新たなステージへと踏み出してまいります。

中期経営計画『 Go forward with Our Region 』について

計画の名称は、先行きが不透明な時代にあっても“地域とともに前(未来)へ進む”という強い思いを込め、『 Go forward with Our Region 』と名付けました。

位置づけ

長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

6つの重点戦略



重点指標

	2021年度実績	2024年度(計画最終年度)	長期目標(10年後)
連結当期純利益	205億円	250億円以上	350億円以上
自己資本比率	9.54%	9%台後半	12%以上
OHR	63.15%	60%台前半	50%台
非金利収入比率 (非金利収入額)	15.14% 189億円	16%台 (200億円以上)	18%以上 (250億円以上)
環境関連投融資実行額	371億円	2,100億円	7,000億円

銀行持株会社



**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

■ 資 本 金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 128,770,814株
第1回第5種優先株式 75,212,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2022年6月23日現在)

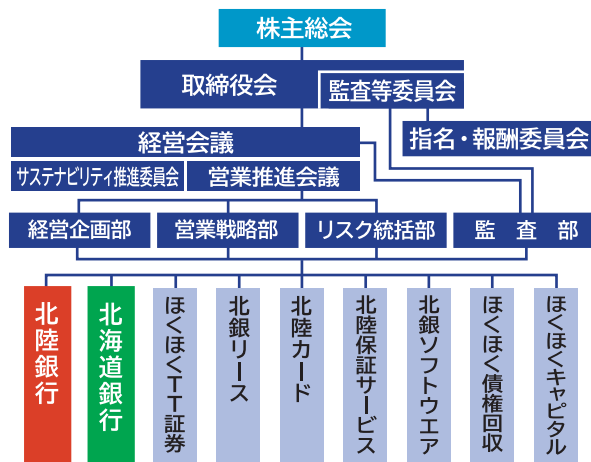
役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
取締役社長	中 澤 宏	取 締 役(社外)	横 井 裕
取締役副社長	兼 間 祐二	取締役監査等委員(常勤)	北 川 博 邦
取 締 役	小 林 正 彦	取締役監査等委員(社外)	眞 鍋 雅 昭
取 締 役	高 田 芳 政	取締役監査等委員(社外)	鈴 木 伸 弥
取 締 役	坂 本 嘉 和	取締役監査等委員(社外)	舟 本 馨
取 締 役	坂 井 章	取締役監査等委員(社外)	小 川 万 里 絵

- 従業員の数 兼務者73名
- 設 立 日 2003年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、当社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。5名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等に関する意見の決定等を行います。
指名・報酬委員会	取締役・経営陣幹部の人事・報酬に関する事項への助言・関与等を行います。取締役3名以上、うち過半数を社外取締役で構成し、委員長は社外取締役の中から選定することで、独立性を確保します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
サステナビリティ推進委員会 営業推進会議	グループのサステナビリティ経営の方向性や戦略、リスク管理について検討します。 グループ子会社の営業の方向性や戦略、連携強化について検討します。

- 名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
- 業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図

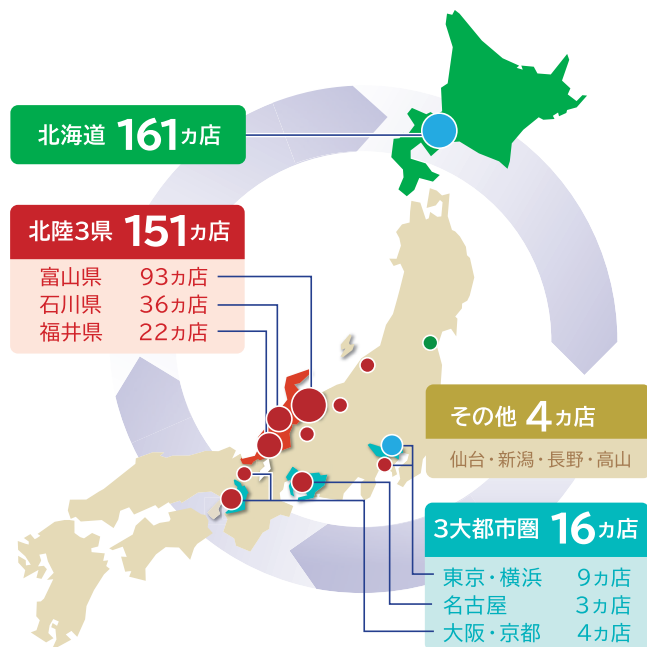


■ グループ各社の内容

(株) 北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株) 北海道銀行	
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株) 北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパースタート」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

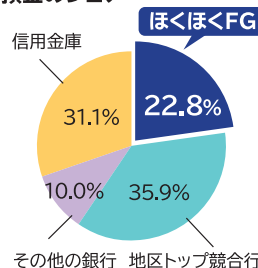
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域とお客さまの繁栄に貢献していきます。

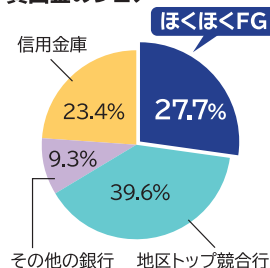


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

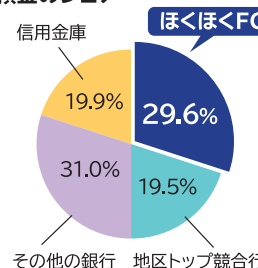


貸出金のシェア

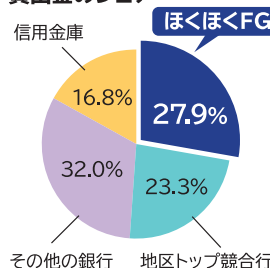


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2021年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」シェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

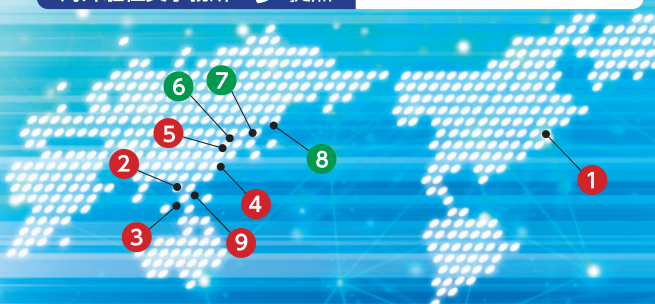
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 瀋陽駐在員事務所 |
| ② バンコク駐在員事務所 | ⑦ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ③ シンガポール駐在員事務所 | ⑧ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ④ 上海駐在員事務所 | ⑨ ホーチミン駐在員事務所 |
| ⑤ 大連駐在員事務所 | |

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しております。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

2019年4月1日

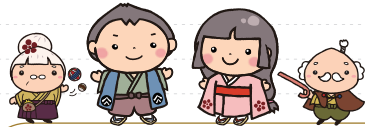


株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 E S G ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する
	◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める
	地域における金融リテラシーの向上 S ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築 G ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 S ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める
	生産性向上に繋がる職場づくり S ◆多様な人材の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人材の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!



持続可能な地域社会の実現

ほくほく
FG

『サステナブル関連投融資目標』を設定

2021年10月、お客さまへの金融サービスの提供を通じて持続可能な社会の実現、およびSDGsの達成に貢献するため、サステナブル関連投融資および環境関連投融資目標を新たに設定しました。

	サステナブル関連 投融資	うち環境関連 投融資
2021年度～2030年度 10年間実行累計(目標額)	1兆5,000億円	7,000億円

【定義】

サステナブル関連投融資 SDGs達成に向けて取り組む取引先への投融資および医療、保健、教育、漁業、農業、創業、事業承継、レジリエンス(BCP・災害対応など)、環境関連等への投融資
環境関連投融資 気候変動対応など環境に配慮した取り組みを支援する投融資

ほくほく
FG

カーボンニュートラルガスおよびグリーン電力の導入

北陸銀行は、2021年12月、CO₂排出量実質ゼロの「カーボンニュートラル都市ガス」を北陸三県で初めて導入しました。また、2022年4月、北陸銀行と北海道銀行の東京支店では金沢大学と協調し、RE100等のグローバル基準に適合するグリーン電力を導入しました。ほくほくフィナンシャルグループのCO₂排出量削減目標▲46% (2013年度比)の早期達成に向けて、様々な取り組みを進めてまいります。



ほくほく
FG

ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始

2021年9月よりほくほくサステナブルファイナンス「サステナビリティ・リンク・ローン型」「グリーンローン型」の取り扱いを開始し、2022年3月、北海道銀行において風力発電所の運営会社との間で「グリーンローン型」の第一号案件となる契約を締結しました。

また、2022年4月より「SDGs定型目標型：ほくほくThree Targets」の取り扱いも開始しました。SDGsに関する11の定型目標より3つをお客さまに選択いただき、一定期間の中で2つ以上を達成した場合に、適用金利を0.1%引き下げる融資商品となります。サステナブルな取り組みを積極的にサポートする商品の拡充により、地域社会の持続可能な発展を支援してまいります。



ほくほく
FG

CO₂排出量可視化支援の開始

2022年1月、株式会社野村総合研究所とお取引先の「CO₂排出量見える化サービス」の提供に向けた業務提携契約を締結しました。また、2022年2月より「GHG排出量算定・可視化クラウドサービス」を提供する株式会社ゼロボードと、2022年3月より「CO₂排出量見える化クラウドサービス」を提供するアスエネ株式会社と、それぞれビジネスマッチング契約を締結しました。これらのサービスの提供を通じて、カーボンニュートラルへ向けてファーストステップとなるCO₂排出量の現状把握を支援してまいります。

北陸銀行

ホーチミン駐在員事務所を開設

2021年12月、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市に駐在員事務所を開設しました。ベトナムは政治的安定度が高く、豊富な労働力を有しており、新たな製造拠点として注目されています。ベトナムの政治経済や金融等に関する情報収集を行い、お取引先の海外進出、海外展開および各種業務をサポートしてまいります。



北海道銀行

SDGsに取り組む北海道の企業を応援！
「北海道 to the future プロジェクト」開始

取引先企業が取り組むSDGs活動の情報発信機会の提供や企業イメージの向上に取り組むため、2021年11月より北海道放送株式会社と連携した「北海道 to the future プロジェクト」を展開しています。SDGsに取り組む取引先企業の活動内容をCMとして放送するほか、報道番組内での企業紹介、プロジェクト専用ホームページでの情報発信など、取引先企業のSDGs活動をサポートするプラットフォームを提供することで、SDGs取組気運の醸成・活性化に貢献してまいります。



北陸銀行

遺言を活用した遺贈寄付をサポート

2021年10月に日本赤十字社富山県支部と、2022年4月に公益財団法人南砺幸世未来基金との間で「遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」を締結しました。「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」といったニーズが増える中、遺言による寄付を希望されるお客さまに対してアドバイスをを行い、必要に応じて遺言信託などのサービスを提供することで、社会貢献や地域活性化に協働して取り組んでまいります。



北海道銀行

北海道銀行女子カーリング部を設立

2021年12月、「北海道銀行女子カーリング部」を設立し、4名の選手で活動を開始しました。2022年5月にはチームに愛称とロゴマークを制定し、多くの皆さまに親しみをもって応援いただくことで、カーリングの普及・拡大を通じた地域活性化に貢献してまいります。



地域における金融リテラシーの向上



ほくほくFG 成年年齢引き下げ、高校指導要領改訂を踏まえた出前授業

2022年4月より、成年年齢が18歳に引き下げられ、高校の新学期指導要領(家庭科)で金融商品について学ぶことが明記されるなど、金融教育の重要性がますます高まっています。今回、北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券の3社が連携して、高校生向けの新しい教材を作成しました。出前授業についてもタイアップするなど、地域の金融リテラシー向上に向けた取り組みをグループ全体で進めています。



健全で強靱な経営基盤の構築



ほくほくFG 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループの発足

2021年11月、北陸銀行と北海道銀行は、地方銀行16行およびNTTデータとともに共同化グループの枠組みを越えたシステム運用

の効率化を検討する「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」を立ち上げました。DXの加速、コロナ禍による非対面取引へのシフトなど地方銀行を取り巻く環境が大きく変化中、アプリケーションの相互利用やシステムコストの低減などに積極的に取り組んでまいります。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上



ほくほくFG 法人版電子交付サービスおよびビジネスポータルへの取り扱い

北陸銀行は2020年10月、北海道銀行は2022年4月より、「法人版電子交付サービス」および「ビジネスポータル」を導入しています。「法人版電子交付サービス」は、利便性や環境への配慮などの観点から、お客さまへ書面でお届けしていた一部帳票についてインターネットより無料でご覧いただけます。「ビジネスポータル」は、預金、為替取引に加え、書面交付のペーパーレス化や融資等の各種サービス

のお申し込みやご相談等ができるようになり、ご来店いただくことなくお取引ができる業務領域が拡大します。法人・個人事業主のお客さまの更なる利便性と満足度の向上に取り組んでまいります。



生産性向上に繋がる職場づくり



ほくほく
FG

「ほくほく札幌ビル」の着工

2021年11月、北陸銀行および北海道銀行は北陸銀行札幌支店跡地で「ほくほく札幌ビル」の起工式を行いました。北陸銀行札幌支店および北海道銀行本部機能に加え、関連会社等も入居し、グループの相互連携を象徴する施設となります。また、フロアに設置する壁をできるだけ減らし、技術の進歩に応じて柔軟に職場環境を整備するなど、職員の多様なワークスタイルに対応することで更なる生産性向上を図るとともに、レジリエンス強化に向けたBCP対応および省エネ設備導入による環境配慮への対応にも取り組んでまいります。竣工は2024年1月を予定しております。

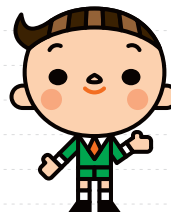
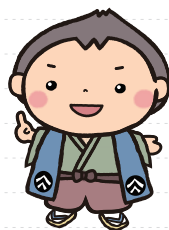


ほくほく
FG

ほくほくフィナンシャルグループ本社・
北陸銀行本部ビルの新築移転

ほくほくフィナンシャルグループ本社および北陸銀行本部ビルを富山駅北口到新築移転いたします。「地域とともに“未来”をひらく」、「働きたい“未来”をつくる」、「やさしい“未来”へつなぐ」をコンセプトに、グループシナジーの追求やウェルビーイングの向上、環境への配慮、レジリエンスの強化などを実現していきます。

また、新幹線延伸を見据え開発が進む富山駅至近に移転することで、当社グループの各エリアからはアクセスが向上し、お客さまはより利用しやすくなります。竣工は2026年度を予定しております。



決算期		毎年3月31日
定時株主総会の基準日		毎年3月31日
定時株主総会		毎年6月
剰余金の配当の基準日		3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
1単元の株式数		100株
証券コード		8377
上場証券取引所(普通株式)		東京証券取引所(プライム市場)および札幌証券取引所
公告方法		電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株式 事務 取扱 場所	株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・ 郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
		みずほ フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、 配当金振込先の指定、 単元未満株式の買取・買増請求等	- 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 - 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
支払明細の発行	みずほ信託銀行の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
------------	--------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2020年度	2021年度	2022年度 (予定)
35.0	35.0	35.0

普通株式配当につきましては、前期比同額の、期末一括配当1株当たり35円とさせていただきます。



株式会社 ほとほとフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほとほとフィナンシャルグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7331
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行
経営企画部広報CSRグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7111
<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行
経営企画部広報CSR室
〒060-8676
札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel: 011-233-1005
<https://www.hokkaidobank.co.jp/>